

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
都留市地域公共交通活性化協議会	富士急バス株式会社	都留市循環線 都留市立病院～都留市駅 谷村・三吉地域	事業者と周知活動を企画し、実践する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、未実施となってしまった。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	年間利用者目標数13,240人に対し、9,321人であった。	今年度未実施の事業者と連携した周知活動、学生等新たな利用者に対する利用促進を実施していく。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切実施されている。 目標・効果については、路線バス、デマンド交通ともに目標が達成出来なかったことについて、コロナの影響で実施できなかった取組が次年度以降図られ、改善されることを期待する。	
	富士急山梨ハイヤー株式会社	東桂線 東桂・谷村地域	学生等新たな利用者に対し、周知活動を実施し、促進を図る予定であったが、休校措置等により、周知活動ができず、未実施となってしまった。		1台あたりの平均乗車人数の目標1.8人に対し、1.3人であった。	学生等新たな利用者に対する利用促進を実施していく。	今後の改善点については、引き続き、新たな利用者の確保していくよう取組を進めていただきたい。	
		盛里線 禾生・盛里地域	利用者増に向け、ニーズのある商業施設への路線の延長は継続して業者と検討していく。		1台あたりの平均乗車人数の目標1.8人に対し、1.4人であった。	商業施設への路線の延長、運行時間を業者を継続して検討していく。	昨年度に引き続き、地域にとって公共交通全体がどうあるべきか検証がされているか、各交通の役割分担が十分に考えられているか等、地域公共交通計画の策定とともに、公共交通全体のあり方を検討していくことを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善 点	評価結果	
中央市地域公共交通活性化協議会	山梨交通株式会社 「中央市役所本館～シルクふれんど りい線」	「中央市役所 本館～JR小 井川駅～山梨 大学医学部附 属病院～中央 市役所玉穂支 所～JR東花 輪駅～中央市 役所豊富支所 ～シルクふれ んどりい」間を 運行	前回の事業評価結果を受けて、土曜日の乗降調査を継続して行い、新たな利用者層の利用実態の把握に努めた。 また、新規利用者獲得のため、市主催イベントのシャトルバスにコミュニティバス車両を用い、普段利用しない層に乗車してもらう機会を作るなど、啓発活動を行った。	計画とおり事業は実施された。	目標値である10,000人に対して約82%の達成率になり、目標達成に至らなかった。 主な理由として、新型コロナウイルスの影響により、令和2年2月頃から、観光・娯楽等を目的とした外出が大幅に減ったことが大きかったと考えられる。 しかし、他市内路線バスより利用者減少幅が少ないこと及び乗降調査結果から、日々の通院・食料品の買い物等により生活に密着した足となっていることが明確となり、公共交通の空白地域の解消や市内各所へのアクセス向上、幹線へ接続できる交通手段として確立していると考えられる。	今後、コロナ禍において、コミュニティバスを安心して利用できるよう、事業者と感染症対策について検討・対応を行っていくとともに、利用者への周知を行い不安解消に努めていく。 また、市内の総合病院や大型ショッピングセンター・温泉施設等への時刻表配布やバス内での写真・ポスター等の各種コンクールの市内入賞者の作品掲示などは継続して行い、コミュニティバスにより親しみを持ってもらえるよう努めていく。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 貴市における目標・効果達成状況について、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は目標値には達しなかったものの、引き続き利用促進等に取り組まれることを期待する。 また、今後の改善点に記載されているとおり、利用者の不安解消に努めていただき、また、おでかけの機会の創出を行うとともに、地域の交通手段として利用者に認識を持ってもらえるよう図れることが望ましい。 地域住民のニーズを的確に捉え、他の公共交通機関とも連携を図りながら地域全体として公共交通の充実を図っていただくよう期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持事業

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
笛吹市地域公共交通会議	事業者：山梨第一交通(株) 運行系統：笛吹市デマンドタクシーみさかルート	御坂町若宮地区(旧若宮公民館)～石和町駅前地区(JR石和温泉駅)	・前回指摘を受けた利用者の認知度について検証し、50%程度ということが分かったため、主な利用者として想定している高齢者へのPRや、新規利用者の獲得のため、利便性向上のための取り組みを検討し、次年度の計画に反映している。 ・利用者の利便性向上のため乗り継ぎの仕組みについて検討し、乗継券の運用を令和元年10月から実施し、車内掲示や広報紙への掲載など周知を行った。	●事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 ・欠便や大きな遅延もなく、運行計画に沿った適切な事業が行われた。 ・乗継券については、予定どおり実施することができた。 ・情報提供については、シニアクラブ連合会の会合や機関誌で紹介したほか、介護予防教室での広報活動は、新型コロナウイルス感染症拡大による中止もあり、予定していた6箇所中3箇所での情報提供に留まった。	●事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 ■1日あたり目標乗車人数15.5人に対し、12.8人 ■目標収支率12.8%に対し、10.0% ・乗車人数、収支率ともに、目標を達成できなかった。 ・新型コロナウイルスの影響により利用者数、目標収支率は前年と比べ減少しており、目標を達成できなかった。	・公共交通アンケートの結果、50%程度の認知度であることが分かっているため、主な利用者として想定している高齢者を中心に引き続き、PR活動する。 ・持続可能な地域公共交通の確立のため、通勤・通学などにも利用いただけるよう、利用者の裾野拡大に向けたダイヤ改正や情報発信を実施する。 ・コロナ禍の影響で市内公共交通全体の利用が低下しているため、安全に利用できることをPRしていく。中断している介護予防教室での利用促進活動についても、状況を見ながら残り3箇所の利用促進を実施していく。 ・福祉等関係部署とも連携しながら、笛吹市の実情に合った移動手段、移動支援の仕組みを検討していく。	認知度向上や利便性向上のための取組は評価できるが、目標未達成となった。 セミデマンド型での運行形態や行き先が利用者のニーズに合致しているか、検証して頂きたい。 民間バス路線との適切な役割分担のもと、せっかくあるリソースを生かし、連携を検討してほしい。 デマンドは予約のしやすさ、区域の設定などによって様々なやり方があり、簡単には最適なシステムに至らない。あまり頻繁に変えすぎると混乱してしまうが、引き続き認知度向上施策に取り組むとともに、地域の利用者及び今利用できずに困っている方の声を聞き、地域にとって最適なシステムの検討を期待する。	
笛吹市地域公共交通会議	事業者：日之出観光自動車(株) 運行系統：笛吹市デマンドタクシーふじみルート	石和町富士見地区(河内公民館)～石和町駅前地区(JR石和温泉駅)～石和町山岸地区(山岸公民館)	・前回指摘を受けた利用者の認知度について検証し、50%程度ということが分かったため、主な利用者として想定している高齢者へのPRや、新規利用者の獲得のため、利便性向上のための取り組みを検討し、次年度の計画に反映している。 ・利用者の利便性向上のため乗り継ぎの仕組みについて検討し、乗継券の運用を令和元年10月から実施し、車内掲示や広報紙への掲載など周知を行った。	●計画に位置づけられた事業は適切に実施されている。 ・乗継券の運用については、予定通り実施することができた。 ・情報提供事業については、シニアクラブ連合会の会合や機関誌で紹介することができた。	●事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 ■1日あたり目標乗車人数15.9人に対し、13.0人 ■目標収支率16.8%に対し、12.9% ・乗車人数、収支率ともに、目標を達成できなかった。 ・新型コロナウイルスの影響により利用者数、目標収支率は前年と比べ減少しており、目標を達成できなかった。	・公共交通アンケートの結果、50%程度の認知度であることが分かっているため、主な利用者として想定している高齢者を中心に引き続き、PR活動する。 ・持続可能な地域公共交通の確立のため、通勤・通学などにも利用いただけるよう、利用者の裾野拡大に向けたダイヤ改正や情報発信を実施する。 ・コロナ禍の影響で市内公共交通全体の利用が低下しているため、安全に利用できることをPRしていく。 ・福祉等関係部署とも連携しながら、笛吹市の実情に合った移動手段、移動支援の仕組みを検討していく。		

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)**

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映 状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
上野原市地域公共交通活性化協議会	有限会社駅前タクシー	第1.1地域 (桐原方面)	※平成31年2月28日の評価結果を踏まえ、計画等に反映した内容を記載	◆利用者数:1,714人/年 : 7.11人/日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。	【目標】 ◆各系統1日当たりの利用者数を令和元年度数値(平成30年10月～令和元年5月)の100%～105%に設定。 【達成状況】 ◆全ての系統において未達成であった。 ○第1.1地域(桐原) 目標 9.50人 実績 7.11人 ○第1.2地域(西原) 目標13.40人 実績10.05人 ○第2地域(大鶴・甲東) 目標13.22人 実績 9.80人 ○第3地域(大目・巖) 目標17.25人 実績14.50人 ○第4地域(島田・秋山) 目標13.36人 実績12.23人 ○全地域 目標66.73人 実績53.69人 【分析】 ◆令和元年10月から令和2年1月までは前年度並の利用者数であったが、新型コロナウイルス感染症の影響より、国内感染が確認された1月以降は利用が少なく、特に緊急事態宣言が発表された4月においては、運行開始得以降最も低い利用率であった。 ◆利用者の約9割が60歳以上で、通院と買物のための移動が主である。	◆交通弱者の移動手段確保等のため、今後もデマンドタクシーの確保・維持に取り組んでいく必要があるが、利用登録者数は微増の状況となっていて、特にコロナ渦においては利用者数及び利用回数の増加は難しくなっている。このため、令和3年度の目標値は、コロナ渦以前の利用者数までの回復は難しいため、各運行系統の令和元年度と令和2年度を比較して利用者が減少した割合の1/2程度は回復する値としている。 ◆外出の自粛要請下においても移動が不可欠な利用者のために、感染症対策など安全を確保した上で事業を継続実施する。また、新型コロナウイルス感染症が収束した際には、より多くの市民に利用してもらうために事業のPR等を継続して実施する。これらは、生活交通確保維持改善計画に反映し、新型コロナウイルスとの共生を図りつつ更なる利用促進に努める。 ◆現在、デマンドタクシーを利用し難い中心市街地の住民のために、中心市街地における循環バス路線の実証運行を開始している。今後もデマンドタクシーとの乗り継ぎや料金体系の検討など、持続可能な公共交通を確立していく。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 目標・効果の達成状況について、昨年度に引き続き、目標値を下回った要因について、影響が出る前の時期は前年比の利用者数の増減がどれほどであったのか検証し、減少の傾向が見られるようであれば、新型コロナウイルス感染症の影響のみとせず、利用が伸び悩んだ理由を分析し、その結果を踏まえて今後の施策の検討がされることを期待する。また、今後の改善策に挙げられているとおり、コロナウイルスの影響下においても更なる利用促進に努めていくことが望ましい。 乗り継ぎが負担とならないような施策が形態を超えて実施され、地域の交通が一体的に使いやすいものとなるよう検討するとともに、今後も市全体として持続可能な公共交通の構築を期待する。	
	富士急バス株式会社	第1.2地域 (西原方面)		◆利用者数:2,421人/年 :10.05人/日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。				
	上野原タクシー株式会社	第2地域 (大鶴・甲東方面)		◆利用者数:2,362人/年 :9.80人/日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。				
	有限会社四方津交通	第3地域 (大目・巖方面)		◆利用者数:3,495人/年 :14.50人/日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。				
	有限会社島田交通	第4地域 (島田・秋山方面)		◆利用者数:2,947人/年 :12.23人/日 ◆交通空白地域の解消や交通弱者を中心とする市民の移動手段の確保などが図られた。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
甲州市地域公共交通会議	甲州タクシー(株)	甲州市塩山地域 (松里・玉宮・共通 (市街地)エリア)を 運行	昨年度に引き続き、利用者の 変容等を確認し、利用状 況の集計を行っている。 また、公共交通計画の策定 のため、利用状況や運行方 式の見直しに向けて分析を 行っている。	事業が計 画に位置 付けられ たとおり、 適切に実 施された	利用者数 【区域】【目標】 【実績】 松里エリア 3,990 人/年 2,837人/ 年 玉宮エリア 3,075 人/年 2,737人/ 年 共通エリア 2,980 人/年 3,391人/ 年	昨年度は台風などの自然災害及 び新型コロナウイルス感染症など の影響を受け利用者数は減少して いるが、高齢化した住民や運転免 許証を返納した方などの新規利用 の対象となる人は増加傾向であ る。そのため利用方法などの広報 活動を行い新規利用者の確保に 努める。 また、現状の利用状況等を踏ま え、効率の良い運行方式の検討を 行う。	事業が計画に位置づけられ たとおり、適切に実施されて いる。 貴市においては、いくつかの エリアにおいて新型コロナウ イルス感染症の影響により 目標達成には至らなかった が、一部目標値を達成した エリアもあり、利用促進等 の取組が行われていることは 評価できる。引き続き、新規 利用者の確保に取組まれる ことを期待する。	
甲州市地域公共交通会議	塩山タクシー(株)	甲州市塩山地域 (神金・共通(市街 地)エリア)を運行	昨年度に引き続き、利用者の 変容等を確認し、利用状 況の集計を行っている。 また、公共交通計画の策定 のため、利用状況や運行方 式の見直しに向けて分析を 行っている。	事業が計 画に位置 付けられ たとおり、 適切に実 施された	利用者数 【区域】【目標】 【実績】 神金エリア 2,826 人/年 2,657人/ 年 共通エリア 2,776 人/年 2,782人/ 年	昨年度は台風などの自然災害及 び新型コロナウイルス感染症など の影響を受け利用者数は減少して いるが、高齢化した住民や運転免 許証を返納した方などの新規利用 の対象となる人は増加傾向であ る。そのため利用方法などの広報 活動を行い新規利用者の確保に 努める。 また、現状の利用状況等を踏ま え、効率の良い運行方式の検討を 行う。	利用者の行動変容等を確認 しながら、効率の良い運 行方針が検討され、地域全 体として、市民にとって利用 しやすい交通体系となるよう 検証が行われることが望ま しい。 今後も引き続き、市全体とし て持続可能な公共交通の構 築を期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 3年 2月 26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の 反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善 点	評価結果	
富士川町地域公共交通活性化協議会	有限会社青柳タクシー	平林エリア(路線定期運行) いきいきかん～平林	役場窓口等において、公共交通に関する説明を行い、疑問や意見を把握することに努めた。	計画通り事業を実施した。	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績は目標未達成。満足度は未達成も肯定的な評価を受けている。	運行時間や便数等を検討し、利用しやすい運行を目指していく。公共交通の安全性も周知していく。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されており評価出来る。 また、地域の実情や利用者の利用形態、運行効率を考慮し、同じ車両を活用し、定時定路線と区域運行を実施し、事業の維持につなげていることも評価出来る。 目標の達成状況については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数の目標達成には至らず、満足度についても、目標を達成することが出来なかった。この結果を踏まえ、今後も住民や利用者が望んでいる内容の把握に努め、それを活かせるよう検討を行い事業の維持につなげていくことを期待する。	
富士川町地域公共交通活性化協議会	有限会社青柳タクシー	平林エリア(区域運行) 増穂地区	役場窓口等において、公共交通に関する説明を行い、疑問や意見を把握することに努めた。	計画通り事業を実施した。	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績は目標未達成。満足度は未達成も肯定的な評価を受けている。	利用方法の説明や広報での周知をして、利用促進を図っていく。公共交通の安全性も周知していく。		
富士川町地域公共交通活性化協議会	有限会社豊栄タクシー	小室エリア(路線定期運行) いきいきかん～南小前	役場窓口等において、公共交通に関する説明を行い、疑問や意見を把握することに努めた。	計画通り事業を実施した。	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績は目標未達成。満足度は未達成も肯定的な評価を受けている。	運行時間や便数等を検討し、利用しやすい運行を目指していく。公共交通の安全性も周知していく。		
富士川町地域公共交通活性化協議会	有限会社豊栄タクシー	小室エリア(区域運行) 増穂地区	役場窓口等において、公共交通に関する説明を行い、疑問や意見を把握することに努めた。	計画通り事業を実施した。	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績は目標未達成。満足度は未達成も肯定的な評価を受けている。	利用方法の説明や広報での周知をして、利用促進を図っていく。公共交通の安全性も周知していく。		
富士川町地域公共交通活性化協議会	有限会社鯉沢タクシー	十谷エリア(区域運行) 鯉沢地区	役場窓口等において、公共交通に関する説明を行い、疑問や意見を把握することに努めた。	計画通り事業を実施した。	高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保した。利用実績は目標未達成。満足度は未達成も肯定的な評価を受けている。	運行時間や便数等を検討し、利用しやすい運行を目指していく。公共交通の安全性も周知していく。		

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似 事業)の 事業評価結果の反 映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
身延町地域公共交通活性化協議会	山交タウンコーチ(株) 身延タクシー (有)中富タクシー	・運行区域 身延地区 下部地区 中富地区 一部町外(市 川三郷町岩 間)	前回、未達成の項目を中心に目標を設定	計画通り、適切に実施された。	・乗合タクシー利用者数 目標：18000人 結果：16526人 新型コロナウイルス感染防止のため外出を自粛する利用者がいたと思われる。 目標は達成できなかったが、町内の人口が減少しているなか利用者数の大きな減少はないため、地域の足として定着していると思われる。	・民間路線バス、町営バス等と連携し、より利用しやすい公共交通を目指す必要がある。 ・住民に運行目的、利用方法等をより一層理解してもらうため、広報等を充実させる必要がある。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 貴町においては、鉄道、民間路線バス、町営バス、乗合タクシーが運行しており、地域にあった運行方法の検討や随時エリアの見直し等を行い、利便性の向上に努めていることは評価できる。しかし、今年度の目標である利用者数については、新型コロナウイルスの影響により未達成となったとのことだが、影響が出る以前の時期における傾向を検証し、今後の取組に活かすことを期待する。 また、今後の改善点としては、記載のとおり、デマンドと路線バス・町営バス相互間での乗り継ぎ改善策や運賃施策など、乗り継ぎが負担とならないような施策が業種を超えて実施され、地域の交通が一体的に使いやすいものとなるよう取り組んで行くことを期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
甲府市地域公共交通会議	富士急バス株式会社	「上九一色・中道地区コミュニティバス線」 古関町～市立甲府病院経由～南甲府駅	各種利用促進の取組については、住民が取組を認知し活用しているか、またその活用状況がコストの大きさに見合っているか、導入効果を検証するとともに、利用者増に向けて改善策を検討することが重要との評価結果があった。 これに対しては、「上九一色地区公共交通協議会」の開催時に「バス利用お買い物手形実証事業」の周知を図ることにより、昼間時間帯の利用を創出でき、対前年同月比でバス利用者が増加した。また、上九一色地区に居住している児童生徒に公共交通の重要性を知ってもらうために「交通環境学習出前講座」を実施して、引き続き将来に渡って公共交通を利用してもらえるよう意識醸成を図った。	適切に実施された	・上九一色公共交通協議会において、高い努力目標として事業を遂行すべきとの判断の中で、①1便当たりの利用者数 4. 2人以上、②年間利用者 4, 200人以上と位置づけていた。 ・実績としては、①については、3. 84人、②については、4, 045人であった。コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年3月以降の利用が減少してしまったことが主な原因と考えている。	・引き続き、運行中のバス車内の換気など、適切な感染対策を講じることで、安全にコミュニティバスを利用してもらう。 ・商品割引等などのサービスをバス利用者が受けられる「バス利用お買い物手形」事業を継続できるよう調整する。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されており評価できる。 目標・効果の達成状況においては、新型コロナウイルス感染症の影響により目標達成には至らなかったが、引き続き利用促進の取組が行われ、今後改善されることを期待する。 今後の改善点に記載されているように、利用者が安心して公共交通を利用できるよう取り組まれるとともに、利用者確保に繋がるのが検証にて判明している事業については引き続き取り組まれることが望ましい。 今後も地域住民のニーズを的確に捉え、他の公共交通機関とも連携を図りながら地域全体として公共交通の充実を図っていただくよう期待する。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月26日

関東運輸局

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改 善点	評価結果	
韮崎市地域公共交通会議	有限会社 韮崎タクシー	運行系統: 竜岡線 (韮崎市立病院～韮崎駅～竜岡公民館) 【車両減価償却費等国庫補助金】	新たな利用者の獲得及び 利便性の向上を目的に、運 行ルート及び時刻表の見直 しを実施した。	計画通り 事業は適 切に実施 された	新型コロナウ イルスの影響を 受けたものの、 目標値である運 行1回当たりの 乗車人数2人/ 回に対して、実 績値は2.2人/ 回となり目標を 達成した。	竜岡線利用者で大 きな割合を占める高 齢者や学生・生徒 の継続的な利用促進 及び新規利用者の 獲得を目的に、時刻 表やバス停留所の 新設等について検 討する。	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 目標・効果達成状況については、新型コロナウイルスの影響を受けつつも目標値を達成したことは評価できる。 新たな利用者の獲得及び利便性の向上に向けて実施した、運行ルート及び時刻表の見直しについては、効果を検証し、昨年から実績値が減少した中でどれだけ効果があったのか、利用者のニーズに合ったものであったか検証することが望ましい。 今後の改善点にあるように、新規利用者の確保に向けて引き続き取り組まれるとともに、地域住民のニーズを的確に捉え、他の公共交通機関とも連携を図りながら、地域全体として公共交通の充実を図っていただくよう期待する。	